

中国の農業余剰労働人口と人口移動に関する研究

名古屋大学		○小山 浩平
名古屋大学大学院	正会員	白川 博章
名古屋大学大学院	正会員	大西 暁生
名古屋大学大学院		園田 益史
名古屋大学大学院	正会員	井村 秀文

1. 研究の目的

中国では経済成長にともない、地域間人口移動が増加している。こうした人口移動は、都市環境インフラの不足をもたらす都市環境を悪化させる可能性がある。しかし、他方、農村部では農地の外延的拡大を抑える効果も考えられる。そこで、地域間人口移動のメカニズムを解明することが、中国における環境管理の大きな課題となっている。

従来、人口移動に関しては、都市農村間の所得格差という、都市側のプル要因から研究が行われてきた。しかし、人口移動は、農業余剰労働力という農村側のプッシュ要因も重要な役割を果たしていると考えられる。そこで、本研究では、中国における人口移動の問題を農業余剰労働力の観点から検討する。

2. 研究の方法

農業の余剰労働人口の既存の評価方法として、中国では従来、評価対象年度の農業労働人口一人当たりの作付面積と基準年度の農業労働人口一人当たり作付面積の差に対する、評価対象年度の農業労働人口一人当たりの作付面積の比を余剰労働の割合とし、これに農業労働人口を乗じたものを農業余剰労働人口と定義して用いられてきた。その代表的な研究の1つとして丁¹⁾があげられる。

しかしこの方法では作付面積と労働力の関係についてしか考慮されておらず、肥料や機械など他の生産要素が無視されている。そこで、本研究では余剰労働人口を推定する方法として、包絡線分析(Data Envelopment Analysis: DEA)を用いて、農業余剰労働力を評価することを試みた。農業生産は、肥料、機械、土地などの投入要素で変化するが、DEAは、ある規模の生産を行うのに最も資源の投入の少ない地域を基準とし、地域間の効率性の違いを評価する方法である。なお、分析モデルでは、規模の変化による効率性の変動を考慮するため、BCCモデルを用いた。

3. 結果の考察及びまとめ

図-1に中国の1995年から2000年の間における省間の人口移動を示す。人口移動数の多い上位5省を見ると、純流入数(=流入数-流出数)が多かったのは広東省、浙江省、上海、江蘇省、北京と沿岸部の都市が並んでいる。次に純流出数(=流出数-流入数)は、多い順に四川省、湖南省、安徽省、江西省、河南省となっており、内陸部の省が続いた結果となった。農業人口一人当たり穀物生産量が多い省は、順に黒龍江省、吉林省、内モンゴ、新疆、寧夏と並んでおり、北部から中部にかけての地域が多いことがわかる。

本研究でもこの式を用いて、省別の農業余剰労働人口を図-3に、農業労働人口に対する余剰農業労働人口の割合を、図-4に示す。従来の方法では、1957年度以前には余剰労働力は存在しなかったと考え、基準年は1957年以前で定める。今回はデータの多かった1952年を基準年として算定した。

従来の方法を用いた結果とDEAによる分析結果を比較してみると、まず余剰労働人口では従来の方法を用いた場合、河南省3133万人、山東省2232万人、広東省2052万人、四川省1696万人、河北省1552万人となっており、DEAでは湖南省1356万人、雲南省1344万人、広東省1219万人、広西省1206万人、河北省1108万人の順になっており、一番多い省の比較では2倍以上の違いが見られた。

一方余剰労働人口割合では、従来の方法の場合、上海 71.3%、広東省 69.7%、陝西省 69.2%、河南省 66.41%、北京 65.57%の順である。DEA では最も高い省は 80% 近くに達し、広東省 79.95%、広西省 79.59%、雲南省 79.39%、貴州省 78.23%、浙江省 74.46%と並んでおり、内陸部、沿岸部共に余剰労働人口の割合が高いことがわかった。人口、割合共に従来の方法と DEA による結果を比較すると、従来の結果では中部で、DEA では南部において高くなっていることがわかる。それぞれの結果で、今回データが得られた分のみで全国合計してみると、従来の方法が全 20 省で約 2 億 800 万人、DEA 24 省で約 1 億 3 千 700 万人という結果が得られた。

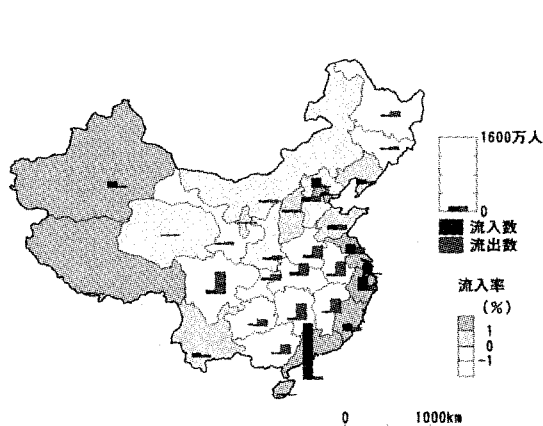


図-1 1995-2000 年における省別人口移動の変化
(注) 流入率は純移動人口を調査時の常住人口で割ったものである。
(出所) 国务院人口普查办公室等 編 (2002) より作成

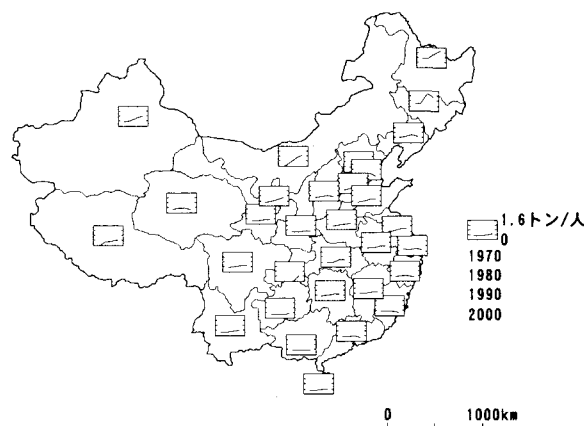


図-2 省別 1 人当たり穀物生産量
(出所) 新中国五十年统计资料, 中国統計年鑑各年版より作成

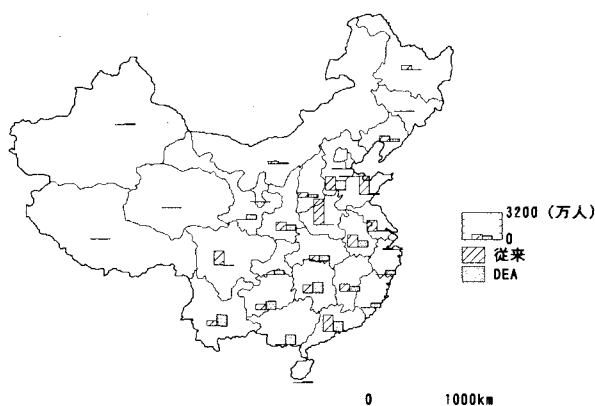


図-3 省別余剰労働人口 (2004)
(出所) 新中国五十年统计资料, 中国統計年鑑各年版より作成

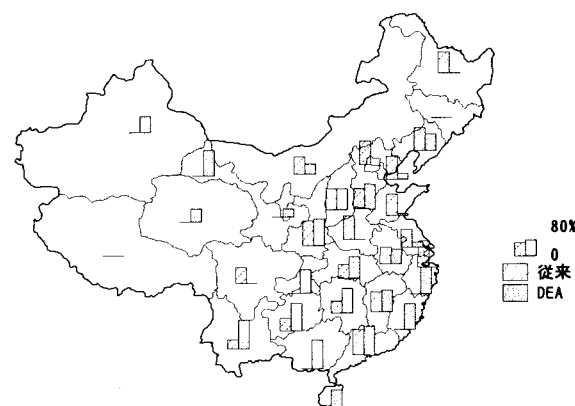


図-4 省別余剰労働人口の割合 (2004)
(出所) 新中国五十年统计资料, 中国統計年鑑各年版より作成

<参考文献>

- 1) 丁元竹 陳健 李勇(2005 年 11 月): 中国持続的都市化戦略文集
「持続的都市化戦略における人口移動と就業問題」
- 2) 国务院人口普查办公室等 編 (2002): 中国 2000 年人口普查資料
- 3) 中華人民共和国国家統計局 編 (2001): 中国統計年鑑 2001
- 4) 国家統計局国民経済総合統計司 編: 新中国五十年统计资料編
- 5) 中華人民共和国国家統計局 編 (2005): 中国統計年鑑 2005